

PRESS RELEASE

2013年7月24日

日本における子会社ソシエテジェネラル信託銀行を三井住友銀行へ売却することに合意

ソシエテ ジェネラル グループは、日本においてプライベートバンキング業務を展開する子会社であるソシエテジェネラル信託銀行を、監督官庁による認可等を前提として、三井住友銀行に売却することに正式に合意しました。本件に係る条件等の詳細は非公開です。

本件合意は、日本の主要銀行である三井住友銀行からソシエテ ジェネラル グループに対して買収の意向表明があり、その後の協議を経て成立に至りました。

ソシエテジェネラル信託銀行は、約 31 億ユーロの顧客資産を有し、東京および大阪に位置する2つの拠点で事業を営んでおり、120人の従業員を擁しております。

ソシエテ ジェネラル グループは、過去40年にわたり日本におけるコーポレート&インベストメントバンキング部門に注力してまいりました。これまでと同様、同部門を引き続き拡充してまいります。

お問い合わせ先:

広報部 ナタリー・プジョール
nathalie.pujolle@sgprivjapan.com
TEL : +813 6229 4325

ソシエテ ジェネラル

ソシエテ ジェネラルは、ユーロ圏最大級の金融サービスグループです。多角的なユニバーサルバンキングモデルに基づき、グループは財務の堅実性と持続可能な成長を維持する戦略を兼ね備えています。また、当グループは市場において信頼が高く、お客さまの立場に立ち、社員一人一人の質とコミットメントでお客さまから選ばれるような金融機関となることを主眼としています。

全世界76カ国の拠点在籍する154,000名の従業員*が世界中の3,300万名を超えるお客さまのパートナーとして日々の業務を行っています。また、ソシエテ ジェネラルの各部門は以下の3つの主力業務を通じて個人、企業および機関投資家向けにサービスと助言を提供しています。

- ソシエテ ジェネラルの支店のネットワーク、クレディデュノール、ブルソラマを通じて展開するフランス国内のリテールバンキング
- 中欧・東欧、ロシア、地中海沿岸諸国、サハラ以南のアフリカ、アジア、フランス国外領土に拠点を置く国際リテールバンキング
- インベストメントバンキング、ファイナンス、マーケット業務における世界的な専門性に基づくコーポレート&インベストメントバンキング

ソシエテ ジェネラルは、専門金融サービス、保険、プライベートバンキング、アセットマネジメント、セキュリティーズサービスの主力金融機関でもあります。

ソシエテ ジェネラルは、社会的責任投資指数の構成銘柄に採用されています：FTSE4Good, ASPI

www.societegenerale.com

ソシエテジェネラル信託銀行

ソシエテジェネラル信託銀行は、ソシエテ ジェネラル グループの富裕層向け資産管理部門の日本法人です。プライベートバンキング業務に特化した日本唯一の外資系信託銀行であり、日本のプライベートバンキング市場において主導的地位を築いています。

2002年の設立以来、東京と大阪を拠点に、全国各地の顧客と密接な連携を図りながら、預金、ローン、外国為替をはじめとする伝統的なバンキング・サービスから、指定運用ポートフォリオ管理、特定運用信託サービスなどテラーメイドの投資ソリューション、さらに、家族信託、不動産仲介などの信託サービスまで、包括的なプライベートバンキング・サービスを提供しています。

www.privatebanking.societegenerale.co.jp